

地質 ニュース

昭和 62 年 2 月

第 390 号

1 9 8 7

特集 古地震

琵琶湖西岸の活断層と寛文 2 年 (1662 年) の地震による湖岸地域の水没	寒川 旭 佃 栄吉	6
滋賀県高島郡今津町の北仰西海道遺跡において認められた地震跡	寒川 旭 佃 栄吉 葛原 秀雄	13
滋賀県大津市の蟹谷遺跡において認められた地震跡	濱寒 川 修 久 幸 敬	18
温泉型金鉱床と地熱系	松 久 幸 敬	20
第 6 回地質年代学・宇宙年代学・同位体地学 国際会議	剛平 一二樹 岡佐長吉 野野尾田 有敬高 修司 介弘	44
田風中松和 中早井田田 康俊准秀		
麦飯石について	岸 本 文 男	60
海外室だより	海 外 室	63

口 絵	琵琶湖周辺の地震跡	寒川 旭 佃 栄吉 葛原 秀雄 修
-----	-----------	----------------------------

編集 地質調査所

発行 株式会社 実業公報社

表紙の写真

縄文時代晩期の噴砂

琵琶湖北西岸の滋賀県高島郡今津町にある北仰西海道遺跡は、縄文時代晩期の土器棺墓が多数検出されたことで全国的に有名である。

1986年の発掘調査で、遺物包含層を切って南北にのびる噴砂が検出された。これは当時の地表下数 10cm に堆積していた細砂層が亀裂に沿って噴出したもので幅約 1 m で長さは 31m 以上である。噴砂は縄文時代晩期前半の土壇墓を引き裂いているが、縄文時代晩期中頃の土器棺墓に覆われている。このため縄文時代晩期前半代の中頃に当地域の地盤に液状化をもたらせた大地震が発生したことが明らかになった。

(文 寒川 旭・写真 佃 栄吉)

3 月号予定目次

伊豆・小笠原海地形カルデラの熱水変質帯
——「しんかい 2000」による潜水調査——
蔡凹アンチモン鉱山の教訓
インド洋・太平洋プレート境界海域における
島弧・海溝系の地質構造に関する研究
地震予知のための地下水水質変化データ時系列分析としての Box-Jenkins 法
仙台湾沿岸環境調査の覚書
内務省地理局における明治初年の地質調査事業の性格について
地質調査所の国際活動の概要 (昭和 60 年度)
1 月の「中国地質報」から